

2026年4月入学

総合研究大学院大学
先端学術院先端学術専攻
【日本語言語科学コース】

博士後期課程

学生募集要項

願書等については、「出願書類様式集」(冊子)を大学宛に請求してください。

https://www.soken.ac.jp/admission/general_admission/gias_guideline/application/index.html

【問合せ先】 ※問い合わせは志願者本人が行うこと

総合研究大学院大学 学務課学生係

住 所: 〒240-0193 神奈川県三浦郡葉山町(湘南国際村)

電 話: 046-858-1525・1526

E-mail: gakusei@ml.soken.ac.jp

時 間: 平日 9:00~12:00 及び 13:00~17:00

目次

- I. 先端学術院先端学術専攻の概要 p. 1
- II. 博士後期課程 出願手続き及び注意事項 p. 3
- 日本語言語科学コースの問い合わせ先等について p. 11

I. 先端学術院先端学術専攻の概要

アドミッション・ポリシー

求める学生像
総合研究大学院大学は、研究に対する強い興味を持ち、学問の全体を俯瞰的に捉えながら、新しい時代を切り開く研究を目指して、豊かな知性と感性を絶えず研磨し、国際的に活躍する意志と熱意を持った学生を求める。
入学者選抜の基本的な考え方
総合研究大学院大学は、入学者を選抜するにあたって、我が国の先端学術を牽引する大学共同利用の研究所その他の機関が担う学術分野において、自立的に研究を推進することのできる基礎学力と論理的な思考力を重視する。そのような力を適正に判定するために、それぞれの専門領域に応じた多様な選抜を実施する。

教育研究上の目的、養成する人材像

本学は、5年一貫制博士課程及び博士後期課程を持つ国立大学で、博士の学位を目指す学生のみ受け入れます。

先端学術院は、本学創設の理念と目的に基づき、大学共同利用機関等を基盤とする大学院大学として、学術のあるべき姿を長期的に見据え、人類社会の知的基盤を支える学術の継承・発展や高度な研究開発の担い手となり、新たな知的価値を創出することができる博士人材を育成し輩出することを目的とします。

総研大とは

本学ウェブサイト(<https://www.soken.ac.jp/features/>)をご参照ください。

教員一覧

本学ウェブサイト(<https://www.soken.ac.jp/faculty-directory/index.html>)をご参照ください。

授業科目について

本学ウェブサイト(<https://www.soken.ac.jp/education/curriculum/course/>)をご参照ください。

学位(博士)取得について

5年一貫制博士課程

本学に5年以上在学し、所定の単位を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については短縮することがある。

博士後期課程

本学に3年以上在学し、所定の単位を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については短縮することがある。

授与する学位

教育コース	学位記に付記する分野	英文学位
人類文化研究	博士(文学)、博士論文の内容によっては博士(学術)	Doctor of Philosophy
国際日本研究	博士(学術)	
日本歴史研究	博士(文学)、博士論文の内容によっては博士(学術)	
日本文学研究	博士(文学)	
日本語言語科学	博士(文学)または博士(学術)	
情報学	博士(情報学)、博士論文の内容によっては博士(学術)	
統計科学	博士(統計科学)、博士論文の内容によっては博士(学術)	
素粒子原子核	博士(理学)、博士論文の内容によっては博士(学術)	
加速器科学	博士(学術)、博士論文の内容によっては博士(理学)または博士(工学)	
天文科学	博士(学術)、博士論文の内容によっては博士(理学)または博士(工学)	
核融合科学	博士(学術)、博士論文の内容によっては博士(理学)または博士(工学)	
宇宙科学	博士(理学)・博士(工学)、博士論文の内容によっては博士(学術)	
分子科学	博士(理学)、博士論文の内容によっては博士(学術)	
物質構造科学	博士(学術)、博士論文の内容によっては博士(理学)または博士(工学)	
総合地球環境学	博士(学術)または博士(理学)	
極域科学	博士(理学)、博士論文の内容によっては博士(学術)	
基礎生物学	博士(理学)、博士論文の内容によっては博士(学術)	
生理科学	博士(学術)、博士(理学)、博士(脳科学)、博士論文の内容によっては博士(医学)	
遺伝学	博士(理学)、博士論文の内容によっては博士(学術)	
統合進化科学	博士(理学)・博士(学術)	

(注)博士(医学)については、医学・歯学・薬学・獣医学に係る6年制の学部を卒業または医科学修士の学位を有し、5年一貫制博士課程へ入学した者のみが対象となります。

II. 博士後期課程 出願手続き及び注意事項

1. 募集人員

教育コース	4月入学	10月入学
人類文化研究	4名程度	-
国際日本研究	3名程度	-
日本歴史研究	3名程度	-
日本文学研究	2名程度	-
日本語言語科学	3名程度	-
情報学	12名程度	若干名
統計科学	6名程度	若干名
素粒子原子核	1名程度	若干名
加速器科学	1名程度	若干名
天文科学	1名程度	若干名
核融合科学	2名程度	若干名
宇宙科学	3名程度	若干名
分子科学	5名程度	若干名
物質構造科学	1名程度	若干名
総合地球環境学	2名程度	-
極域科学	1名程度	若干名
基礎生物学	3名程度	若干名
生理科学	6名程度	若干名
遺伝学	2名程度	若干名
統合進化科学	1名程度	若干名
入学定員	62名	

2. 出願資格

出願できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

【出願資格認定審査を要しない者】

- ① 修士の学位または専門職学位を有する者及び入学の前月までに取得する見込みの者
- ② 外国において、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者及び入学の前月までに授与される見込みの者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者及び入学の前月までに授与される見込みの者
- ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者及び入学の前月までに授与される見込みの者
- ⑤ 学校教育法施行規則第156条第4号の規定により、国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び入学の前月までに授与される見込みの者
- ⑥ 外国の学校、外国の大学院の課程を有する教育施設または国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有すると同等以上の学力があると認められた者及び入学の前月までに認められる見込みの者

【出願資格認定審査を要する者】

- ⑦ 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者及び入学の前月までに2年以上研究に従事することとなる見込みの者で、本学において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

- ⑧ 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、または外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者及び入学の前月までに2年以上研究に従事することとなる見込みの者で、本学において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- ⑨ 本学において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、入学の前月末日までに24歳に達しているもの

出願資格について疑問がある場合は、あらかじめ学務課学生係[E-mail:gakusei@ml.soken.ac.jp または電話 046-858-1525・1526]へ照会してください。

3. 出願資格認定審査

- [1]出願資格⑦～⑨により出願しようとする者については、以下の書類を所定の提出期日までに学務課学生係へ提出してください。なお、出願書類は出願資格認定審査が終了するまでその受理を保留します。
- [2]出願資格⑦～⑨により出願しようとする者についての「修士の学位を有する者と同等以上の学力」の確認は、刊行された著作または論文を中心に書類審査で行います(ただし、出願資格認定審査に必要と判断した場合には面接を行います)。詳細については、本コースに問い合わせてください。

出願資格認定審査についての提出書類等は、以下のとおりとします。

(1) 提出書類

ア. 入学者選抜出願資格認定申請書	本学所定の様式(別紙様式7-2)
イ. 通常の出願書類	「5. 出願書類等」に定める書類 ※ただし、検定料については出願資格が認定された後に払い込んでください。
ウ. その他コースが必要と認める書類	詳細については、「受験される皆さんへ」を参照してください。

上記ア～ウは、一括して提出してください。また、必要に応じてコースから追加書類の提出を求める場合があります。

(2) 提出期間(出願資格⑦～⑨で出願する者のみ)

入学区分	出願資格認定申請期間
2026年4月入学	2025年11月4日(火)～2025年11月6日(木)

※受付時間は、期間中の平日 9:00～12:00、13:00～17:00 とします。

(3) 提出方法

原則として郵送とします。市販の角形2号封筒(33cm×24cm)に冊子版の出願書類様式集の中の出願書類送付用の用紙を貼り付け、必ず速達・簡易書留郵便としてください。また、表に「出願書類及び出願資格認定申請書在中」と朱書きしてください。

出願書類一式が封筒に入りきらない場合は、箱詰めなどで送付しても構いません。ただし、その場合でも追跡可能な方法により、送付してください。

提出先(総合研究大学院大学学務課学生係)に直接提出する場合は、提出期間最終日の17時までには持参してください。

(4) 出願資格認定審査の結果

出願資格認定審査の結果は、願書受付期間の前までに本人に通知します。

出願資格を認定された者については**別紙様式8**を参照し、検定料を払い込んでください。また、払い込み後、検定料払込証明書に振替払込受付証明書(お客さま用)を貼付け、学務課学生係まで提出してください。

4. 願書受付

出願資格①～⑥により出願しようとする者については、「5. 出願書類等」に定める書類を所定の提出期日までに学務課学生係へ提出してください。

(1) 受付期間

入学区分	出願期間
2026年4月入学	2025年12月4日(木)～2025年12月10日(水)

※受付時間は、期間中の平日 9:00～12:00、13:00～17:00 とします。

(2)出願方法

原則として郵送とします。市販の角形2号封筒(33cm×24cm)に冊子版の出願書類様式集の中の出願書類送付用の用紙を貼り付け、必ず速達・簡易書留郵便としてください。出願書類一式が封筒に入りきらない場合は、箱詰めなどで送付しても構いません。ただし、その場合でも追跡可能な方法により、送付してください。

提出先(総合研究大学院大学学務課学生係)に直接提出する場合は、受付期間最終日の17時までには持参してください。各コースを置く基盤機関では受け付けませんので注意してください。

(留意事項)

郵送前には記入漏れ、書類不備のないことを必ず確認してください。郵送に際しては、郵便事情及び書類不備の場合も考慮し、十分余裕をもって発送してください。

郵送・提出先 〒240-0193 神奈川県三浦郡葉山町(湘南国際村) 総合研究大学院大学 学務課学生係 電話:046-858-1525・1526

5. 出願書類等

出願にあたり、事前に志望指導教員とコンタクトをとることを強く推奨します。

後述の「受験される皆さんへ」を熟読してください。また、出願書類は黒や青のペンまたはボールペン(消せるものや時間の経過により字が消えるものは不可)で記入してください。

【全員提出が必要なもの】

書類名	留意事項
入学願書・受験票	本学所定の様式(別紙様式1-B)に記入してください。 出願前3ヶ月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向きの写真(4.5cm×3.5cm)を、所定の位置に貼り付けてください。 募集要項の内容を熟読し、その内容に同意したうえで署名してください。
成績証明書	原本を提出してください。 出願資格①:大学院(修士課程または専門職大学院)と大学(学部)の成績証明書すべて ※編入学により認定されている科目がある場合には、編入学前(高等専門学校または短期大学等)の成績証明書も提出すること 出願資格②~⑥:外国の大学院(修士課程または専門職大学院)と大学(学部等)の成績証明書すべて 出願資格⑦~⑨:最終学歴に係る成績証明書
修士課程修了(見込)証明書等	原本を提出してください。 出願資格①:大学院(修士課程または専門職大学院)の修了(見込)証明書 ※大学院を修了した者は、取得学位が記載された修了証明書を提出すること 出願資格②~⑤:外国の大学院等の修了(見込)証明書 ※大学院等を修了した者は、取得学位が記載された修了証明書を提出すること 出願資格⑥~⑨:最終学歴に係る卒業証明書
これまでに行った研究の要旨	本学所定の様式(別紙様式3・本学ウェブサイトよりダウンロード可)により作成してください。
研究発表活動の概要	本学所定の様式(別紙様式4・本学ウェブサイトよりダウンロード可)により作成してください。
志望研究内容	本学所定の様式(別紙様式5・本学ウェブサイトよりダウンロード可)により作成してください。
検定料	検定料は30,000円です。払い込み方法については別紙様式8を参照してください。 国費外国人留学生は検定料の納付は不要です。国費外国人留学生であることを証明できる書類を提出してください。
連絡受信先シール	本学所定の様式(別紙様式9)により作成してください。
外国為替及び外国貿易法第25条第1項及び第2項の遵守のための特定類型該当性に関する誓約書	簡易チェックフローチャートを参照し、本学所定の様式(別紙様式10)により作成してください。簡易チェックフローチャートの詳細については、総務課研究協力係[E-mail: kenkyo@ml.soken.ac.jp]にお問合せください。 ・簡易チェックフローチャート https://www.soken.ac.jp/admission/file/tokuteiruikei.pdf ※日本国外に居住する者は提出不要

書類名	留意事項
レターパックプラス(受験票送付用)	受験票等について「レターパックプラス」で発送いたしますので、郵便局で購入のうえ、提出してください。 ※海外在住の場合は、願書受付期間の前に学務課学生係へ問い合わせること

【該当者のみ提出が必要なもの】

書類名	該当者	留意事項
履歴書	外国で教育を受けた出願者は全員	本学所定の様式(別紙様式1-2)に所要事項を記入してください。
学位(修士)論文の要旨	修士の学位を有する者または修士課程等に在学中で修士論文を作成中あるいは提出済みの者	本学所定の様式(別紙様式15)により、作成してください。修士論文作成中の者も提出してください。 言語や文字数等、詳細は「受験される皆さんへ」を参照してください。
修士論文の提出が必須でないことを証明する書類	修士論文の提出を課さない大学院に在籍またはそれを修了し、修士論文を執筆していない者	修士論文の提出が必須でないことを証明する書類を提出してください。
修士論文(1編2部)	修士の学位を有する者及び修士課程在学中で修士論文を提出済みの者	修士論文の表紙右上に「修士論文(写し)」と朱書きしてください。 詳細は「受験される皆さんへ」を参照してください。
	修士論文を作成中の者	修士論文提出予定日報告書(別紙様式16)を出願期間に提出し、必ず2026年1月9日までに修士論文の写しを提出してください。 詳細は「受験される皆さんへ」を参照してください。
	修士論文の提出を課さない大学院に在籍またはそれを修了し、修士論文を執筆していない者	提出の必要はありません。ただし修士論文の提出が必須でないことを証明する書類の提出は必須です。
学術論文(1編につき2部)	発表した学術論文がある者	詳細は「受験される皆さんへ」を参照してください。
在職在学許可書	在職している者(正規の職員である者または雇用期間が1年以上かつ週の労働時間が30時間以上の職に就いた者)	本学所定の様式(別紙様式6)により当該所属長が作成したものを提出してください。ただし、在職在学許可書の提出が困難な者は、本人が入学時に在職在学許可書、研修命令書、休職証明書等を提出する旨を記載した申立書(様式任意)をもって代えることができます。 ※現に在職中の者で、本学への入学時に退職予定である者は、その旨を記載した申立書(様式任意)を提出すること
在留カードまたはパスポートの本人情報ページ	外国籍出願者	日本国内に居住する者は、在留カード(両面)のコピーを提出してください。 日本国外に居住する者は、パスポートの本人情報ページのコピーを提出してください。

(注1)提出された書類等に不備がある場合には、受理しません。また、出願書類は返却しません。

(注2)婚姻等により証明書と氏名が異なる場合は、戸籍抄本(写し可)を添付してください。

(注3)出願書類(別紙様式)は、冊子版の出願書類様式集をご利用ください。なお、別紙様式3・4・5・15については、本学ウェブサイトからダウンロード可能です(<https://www.soken.ac.jp/admission/application/info/jls/index.html>)。

(注4)出願書類は日本語もしくは英語で記入してください。また、日本語もしくは英語ではない言語で記載された証明書を提出する場合は、日本語または英語の証明書等を添付してください。

(注5)修士課程修了時に修士論文を提出した者、また、修了のために修士論文を提出する予定の者は、その論文と「学位(修士)論文の要旨」を提出してください。

(注6)博士後期課程に在学中の(または在学していた)出願者は、博士後期課程の成績証明書を提出してください。また、博士後期課程を修了した出願者は修了証明書を、退学した出願者は退学証明書を提出してください。

6. 選抜の方法、期日及び試験会場

本コースの入学者の選抜は、第一次選抜(書類選考等の審査)と第二次選抜(面接)により行います。

入学区分	学力検査の実施期間
2026年4月入学	2026年1月27日(火)

(注)第二次選抜の日時等詳細は受験票送付の際に通知します(原則、レターパックプラスで郵送)。受験票に記載してある第二次選抜の期日及び時間に、余裕をもって集合してください。
 なお、受験票が第二次選抜実施期間の3日前を過ぎても到着しない場合は、学務課学生係まで問い合わせてください。
 送付予定日については、本学ウェブサイトを確認してください。
<https://www.soken.ac.jp/admission/application/info/jls/index.html>

試験会場:

教育コース	試験会場
日本語言語科学	国立国語研究所 〒190-8561 東京都立川市緑町10-2 ・多摩モノレール高松駅より徒歩7分 ・JR立川駅よりバスで「自治大学校・国立国語研究所」下車、徒歩1分 ・詳細については国語研ウェブサイト(https://www.ninjal.ac.jp/utility/access/)参照 担当係:研究推進課 大学院教育事務担当 電話:042-540-4314

7. 合格者発表

入学区分	発表時期
2026年4月入学	2026年2月中旬

※詳細は追って出願者に通知します。

合格者に対しては合格通知書を発送します。

合格者発表は本学ウェブサイト上(https://www.soken.ac.jp/admission/general_admission/result)でも行いますが、必ず郵送による本人あて通知文書により再度確認してください。また、電話による照会には、一切応じません。

8. 入学手続き

- (1)入学手続き期間は、2026年4月入学者は2026年3月上～中旬を予定していますので、合格者は所定の期間内に入学手続きを完了してください。なお、詳細は、合格者に対して別途通知します。
- (2)入学に要する経費は次のとおりです。ただし、国費外国人留学生は入学料及び授業料は不要です。

入学料	282,000円
授業料(年額535,800円のうち半期分)	267,900円
学生教育研究災害傷害保険料(3年分)(通学特約・賠償特約付)	3,620円

注1 入学時及び在学中に、入学料及び授業料の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

注2 納付済みの入学料は、いかなる理由があっても返還しません。ただし、学生教育研究災害傷害保険料については、2026年4月入学者は2026年3月31日までに入学を辞退した場合、返還します。

- (3)有職者(非常勤、アルバイトを除く。)については、任命権者が発行する書類(在職在学許可書、研修命令書、休職証明書等のいずれか)を提出してください。本学入学の前月までに退職する者は、退職証明書を提出してください。
- (4)出願時に他の大学・大学院に在籍している者(本学入学の前月までに卒業・修了する者は除く)は、退学証明書を提出してください。
- (5)外国籍の方は、特別な事情のない限り、「留学」の在留資格を取得して下さい。「留学」の在留資格の取得方法は本学ウェブサイトにて案内しています。

9. 長期履修学生制度について

長期履修学生制度は、職業を有している等の事情により、標準の修業年限(3年)を超えて在学しなければ課程を修了することが出来ない者が、一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する旨を申し出た場合、その計画的な履修を認める制度です。

この制度の詳細に関しては、学務課教務係(E-mail:kyomu@ml.soken.ac.jp または電話 046-858-1523・1524)に問い合わせてください。

10. 注意事項

- (1) 出願及び受験の際は、「受験される皆さんへ」をよく読んでおいてください。
- (2) 出願書類受理後の提出書類の返却及び内容変更は認められません。
- (3) 出願書類等について、虚偽の申請、不正等の事実が判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- (4) 出願時に他の大学院に在学中で転入学を希望する場合は、願書受付期間の最終日までに学務課学生係までお知らせください。
- (5) 心身に障害のある出願者で受験時および入学後の履修に際し、特別な措置を必要とされる場合には、出願書類受付期間の2か月前までにその旨お知らせください。
- (6) 受験辞退される際には、学務課学生係[E-mail:gakusei@ml.soken.ac.jp または Fax:046-858-1632]までお知らせください。
- (7) 出願書類提出後に、住所等の変更がある場合には、学務課学生係[E-mail:gakusei@ml.soken.ac.jp または Fax:046-858-1632]までお知らせください。
- (8) 本学では、原則として二重学籍を認めていません。
- (9) 管理上、姓名に含まれる旧字体、異体字等は JIS 第一水準または第二水準の範囲内の文字に置き換えられることがありますので、ご了承ください。
- (10) 新型コロナウイルス感染症等の影響により、入学者選抜の実施方法を変更する場合は、本学ウェブサイトで公表しますので、必ず確認してください。

11. 安全保障輸出管理について

本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「総合研究大学院大学安全保障輸出管理規則」等を定め、技術の提供や研究者・学生の受入れに際し、審査を実施しています。このことから、規制事項に該当するおそれのある場合は、希望する教育・研究内容の変更を求められることがあります。なお、入試の可否には関係ありません。

安全保障貿易管理の詳細については、経済産業省のウェブサイトを参照してください。また、審査手続きの詳細は各コースの担当事務までお問い合わせください。

・経済産業省のウェブサイト <https://www.meti.go.jp/policy/anpo/gaiyou.html>

12. 個人情報の取り扱いについて

- (1) 出願時に提出していただいた氏名、住所、その他の個人情報については、「入学者選抜(出願処理、選抜試験実施)」、「合格者発表」及び「入学手続き」等の入試業務を行うために利用します。
なお、入学者については、「教務関係(学籍管理、就学指導)」、「学生支援関係(健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等)」及び「授業料徴収に関する業務」を行うことにも使用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計・分析及び入学者選抜方法の調査・研究のために利用します。

受験される皆さんへ[日本語言語科学コース]

日本語言語科学コースでは、日本語をデータに基づいて客観的・定量的に分析することのできる次世代の研究者を養成します。そのために、国立国語研究所が蓄積した言語資源と研究ネットワークを活用し、従来の分析手法にくわえて、理論・実験・フィールドワーク・社会調査・コンピュータシミュレーション等の新しい手法によって言語分析をおこなう能力・技能を涵養します。

【求める学生像】

言語研究と日本語に対する強い興味を持ち、関連する諸領域を俯瞰的に捉えながら新しい研究領域の開拓を目指して知的研鑽に励み、国際的に活躍する意志と熱意を持った学生を求めます。特に言語データに依拠した実証的な研究、エビデンスと結びついた理論・実験・調査・応用研究、データサイエンスとの連携に興味をもつ学生を求めます。現職教員や研究者の社会人入学を歓迎します。

【入学者選抜の基本的な考え方】

入学者を選抜するにあたって、言語学・日本語学・応用言語学(日本語教育)などの研究領域において自立的に研究を推進することのできる基礎学力と論理的な思考力ならびに国際的成果発信への意欲を重視します。

1. 選抜の方法について

入学出願者の選抜は、第一次選抜(書類選考、修士論文等(該当者のみ)の審査を含む)と第二次選抜(面接、および修士論文の審査(修士論文提出予定日報告書を提出した志願者のみ))により行います。

【第一次選抜】

書類選考

志望研究内容等、提出を求めた資料を審査します。また、修士論文、および学術雑誌等に掲載された学術論文、刊行された著作物、そのほか公表された成果物(提出任意)を総合的に審査します。修士論文提出予定日報告書を提出した志願者については、修士論文を除いた書類のみに基づいて書類選考が行われ、合格と判定された場合、第二次選抜で修士論文が審査されます。修士論文の提出を課さない大学院に在籍またはそれを修了し、修士論文を執筆していない者については、修士論文の審査は行われません。

【第二次選抜】

① 修士論文等の審査(修士論文提出予定日報告書を提出した志願者のみ)

修士論文提出予定日報告書を出願時に提出済みで、修士論文を第一次選抜以降に提出した志願者について、修士論文を審査します。

② 面接

第二次選抜(面接)は、第一次選抜合格者についてのみ行うものとします。第一次選抜の可否は面接日の3日前までに、入学願書に記載された連絡先に文書で個別に連絡します。(なお、可否通知が面接日の3日前を過ぎても到着しない場合は、総合研究大学院大学 学務課 学生係まで問い合わせてください)。

面接は、主として修士論文(該当者のみ)、学術雑誌等に掲載された学術論文、刊行された著作物、そのほか公開された成果物の内容、及び志望研究内容等について行います。面接中に志願者の研究に必要なとされる言語の語学力・知識を試す問題が出される場合があります。

2. 出願にあたっての注意事項

(1) 併願について、出願期間・課程・入学年月が同一の場合に、第2志望までの併願を可とします。本コースは、情報学コース、統計学コースとの併願を認めます。ただし、選抜は、コースごとに行われますので、併願する際には各試験日程・試験会場について留意してください。

(2) 学位(修士)論文および「学位(修士)論文の要旨」(別紙様式15)について

① 「学位(修士)論文の要旨」(別紙様式15)は日本語または英語で記入してください。

② 所属研究科の学位(修士)論文の提出締切日が本学への出願期間後であるため、出願時において修士論文を提出できない者については、修士の学位を取得することが見込まれる修士論文を、2026年1月9日(金)17時までに本学に提出できる場合に限って出願を認める特例措置があります。

この措置を希望する者は、出願時に修士論文提出予定日報告書(別紙様式16)によって届け出たうえ、論文の写し(2部)

を国立国語研究所 研究推進課 大学院教育事務担当 へ提出してください。なお、期限を過ぎても論文提出のない者は、受験を辞退したものとします。

(注)「学位(修士)論文の要旨」(別紙様式15)については、必ず通常の受付期間内に必ず提出してください。

- ③ 学位(修士)論文が日本語・英語以外の言語で書かれている場合は、要旨のほかに、内容を説明した日本語または英語の文書(2部)を添付してください。日本語の場合は12,000字程度、英語の場合は6,000語程度とします(様式自由)。
- ④ 修士論文の提出を課さない大学院に在籍またはそれを修了し、修士論文を執筆していない者は、別紙様式15の提出は不要です。ただし、修士論文の提出が必須でないことを証明する書類は必ず提出してください。

(3) 「これまでに行った研究の要旨」(別紙様式3)について

これまでの研究について日本語または英語で書いてください。

(4) 「研究発表活動の概要」(別紙様式4)及び学術論文・公表された成果物について

「研究発表活動の概要」に、刊行された学術論文・公表された成果物を書いた場合は、2点以内(各2部)を提出することができます。刊行前の論文を含めることもできますが、その場合は、「論文掲載証明書」(様式自由)を添付してください。学術論文が日本語・英語以外の言語で書かれている場合は、内容を説明した日本語または英語の文書(2部)を添付してください。日本語の場合は4,000字程度、英語の場合は2,000語程度とします(様式自由)。

修士論文の提出を課さない大学院に在籍またはそれを修了し、修士論文を執筆していない者については、修士論文の内容に基づいた審査が行えないため、学術論文・公表された成果物等を提出することを強く勧めます。

修士論文のテーマが志望研究内容と著しく異なる者については、志望研究内容に関連する学術論文・成果物がもしあれば、それらを提出することを勧めます。ただしこの場合であっても、修士論文の提出が義務付けられている大学院に在籍またはそれを修了している者については、修士論文の提出は必須となります。

(5) 「志望研究内容」(別紙様式5)について

- ① 志望研究内容について、日本語または英語で記入してください。
- ② 「指導教員」欄には、希望する指導教員名を記入してください
- ③ 研究内容について、指導を希望する教員と面談、メール等により事前に相談することを強く推奨します(教員の連絡先については、国立国語研究所 研究推進課 大学院教育事務担当 まで問い合わせてください)。

(6) 出願資格認定申請者について

入学者選抜出願資格認定申請書(別紙様式7-2)及び「5. 出願書類等」に定める書類の他、刊行された著作または論文の写しを、1編以上、各2部提出してください(刊行前の著作または論文の提出も可。ただし、「出版予定証明書」「論文掲載証明書」等(様式自由)を必ず提出すること)。

(7) 他大学院博士課程修了者は、博士論文の写しを2部提出してください。また、(別紙様式3)に博士論文の要旨を含めてください。

3. 採点・評価基準

(1) 第一次選抜

志望研究内容については、学問的意義・計画の妥当性/具体性等を評価します。

修士論文(該当者のみ)及び修士論文以外で既に刊行された論文等(提出した者のみ)については、論理性・独創性・実証性・発展性・研究史の把握・論文形式等を評価します。

(2) 第二次選抜

修士論文(修士論文提出予定日報告書を提出した志願者のみ)及び修士論文以外で既に刊行された論文等については、論理性・独創性・実証性・発展性・研究史の把握・論文形式等を評価します。

面接では、志望研究内容及び論文等に関わる点のほか、基礎知識・研究遂行力・討論能力・語学力等についても評価します。

4. 合否判定基準

上記3の評価から総合的に判断し合否を判定します。

5. 問い合わせ先

〒240-0193 神奈川県三浦郡葉山町(湘南国際村)
総合研究大学院大学 学務課 学生係(平日9:00~12:00及び13:00~17:00)
電話 046-858-1525・1526 E-mail gakusei@ml.soken.ac.jp

〒190-8561 東京都立川市緑町10-2
国立国語研究所 研究推進課 大学院教育事務担当 (平日9:00~12:00及び13:00~17:00)
TEL 042-540-4314 E-mail:gs-edu@ninjal.ac.jp

日本語言語科学コースの問い合わせ先等について

ウェブサイトを参照のうえ、日本語言語科学コースの概要、授業科目、各教員の教育研究内容をよく確認してください。

日本語言語科学コース	
コース担当事務	人間文化研究機構 国立国語研究所 〒190-8561 東京都立川市緑町10-2 担当係:研究推進課 大学院教育事務担当 電話:042-540-4314, 4321 E-mail: gs-edu@ninjal.ac.jp
指導教員一覧	https://www.ninjal.ac.jp/education/soken/course/supervisor/